

# KIT\*MIKI

ON PAPER



(Instagram)



(WEBサイト)

三木町公式アカウント (Instagram) [https://www.instagram.com/kit\\_miki\\_kagawa/](https://www.instagram.com/kit_miki_kagawa/)

香川県三木町魅力発信サイト (WEBサイト) <https://www.town.miki.lg.jp/kit-miki/>

三木町ふるさと会報紙 年2回発行

フォトコンテスト  
結果発表!!

雨夜に宿る  
獅子の魂  
「獅子たちの里  
三木まんで願。」

2026  
WINTER



MIKI PHOTO  
CONTEST  
2024

# MIKI CHO PHOTO CONTEST

## 2024テーマ「記録に残しておきたい三木町」

首里城を3度救い、琉球文化研究の第一人者で型絵染めの人間国宝、香川県三木町出身・鎌倉芳太郎氏にちなんだテーマ「記録に残しておきたい三木町」のもと、令和6年8月1日から令和7年1月6日まで作品を募り、プリント部門で116点、Instagram部門で363点と大変多くの応募をいただきました。応募してくださった皆さま、ありがとうございました!入賞作品をご紹介します。

三木町  
観光協会便り

一般社団法人  
三木町観光協会

HP はコチラ↑  
<https://mikicho-kanko.com/topics/3594.html>





撮影者：namaicchou 場所：三木町井戸

Instagram 部門  
優秀賞



作品名：「熱演」 撮影者：安井健二郎（高松市） 場所：高仙神社 / 三木町奥山

プリント部門  
石川直樹賞



撮影者：yousuke\_starseven  
場所：ベルシティ（獅子たちの里三木まんで願。2024）

Instagram 部門  
優秀賞



作品名：「春らんまん」 撮影者：高橋行雄（高松市）  
場所：白山神社 / 三木町下高岡

プリント部門  
優秀賞



作品名：「ぼくじゃない!オリオン座だ!」  
撮影者：青井玉水（高松市） 場所：太古の森 / 三木町上高岡

プリント部門  
優秀賞



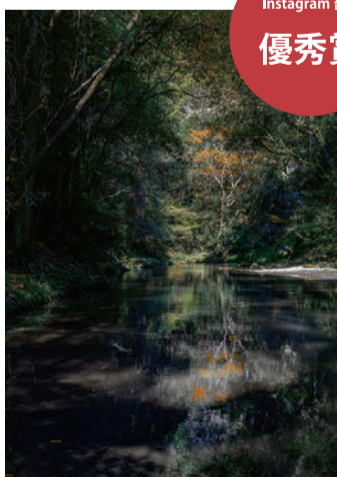
作品名：「一服」 撮影者：冬木すみ子（三木町）  
場所：多田善最神社 / 三木町朝倉

プリント部門  
GRAND PRIX  
グランプリ



撮影者：mikipack2019  
場所：琴電・白山駅 / 三木町下高岡

Instagram 部門  
優秀賞



撮影者：yoshikichanchan 場所：虹の滝 / 三木町小藁

Instagram 部門  
優秀賞



三木町の上高岡にある工房、アートスペースにしくみ。2020年に陶芸作家のニシクミさんが開いた工房です。田んぼに囲まれた道を少し進むと、ぽつんと現れるその場所は、初めて訪れる人でもどこか懐かしく、ふっと肩の力が抜けるような空気に包まれています。今回は、令和6年度かがわ県産品コンクール的一般部門で最優秀賞となる知事賞を受賞するなど、多方面でご活躍されているニシクミさんの工房にお邪魔して、作品や活動への想いを語っていただきました。

## ■ 工房を設立したきっかけ

### — 工房を設立されたきっかけを教えてください —

私は三重県出身で、もともと絵画からこの世界に入り、陶芸にたどり着きました。結婚後は夫の転勤が多くて、これまでなかなか一つの場所に根付いた活動ができなかったんです。しばらくして夫の地元である香川県にUターンすることになり、「やっと落ち着けるかな」と思った翌年にコロナ禍になりました。当時はアクセサリーや小物を作っていました、イベントがなくなって、作っても届ける場所がなくなってしまっ。時間がぽっかり空いた感覚がありましたね。それなら、前からやってみたかった体験教室に挑戦してみようと思い、準備をして、2020年の7月頃から工房で作品制作と体験教室の受け入れを始めたのですが、今振り返ると、それが大きな転機だったなと思います。今では通算で1,000人以上の方に体験していただいています。

## ■ 体験教室について

### — どんな体験教室がありますか？ —

三木町の工房で、ミニ電動ろくろでの陶芸体験、絵付けアート体験、粘土手びねり体験などができます。初めての方でも「陶芸って楽しい!」と感じてもらえる体験になることを一番に考えています。道具類はすべて貸し出しますので、手ぶらで気軽にお越しいただけます。体験後は、香川県産のお茶と和三盆でほっこりティータイム。ちょっとした旅行気分を味わっていただけると思います。

### — 体験教室で大切にしていることはありますか？ —

頭を空っぽにして、集中できる時間を過ごしてもらおうことです。最初はみんなでおしゃべりしながらにぎやかにしていても、制作が始まると、必ず静かに集中する時間が来るんです。その様子を見ると、心の中で「よしっ!」ってガッツポーズしています(笑)。

### — 3歳から参加できる体験も特徴ですね —

小さい子ども、粘土に触れるだけで十分楽しいと思っています。上手に作ることも、触った感覚や、形が変わっていく体験を大事にしたい。粘土が好きな子が一人でも増えたらいいなと思っています。



ニシクミさん

1988年生まれ。三重県出身。陶芸家、芸術士<sup>®</sup>。大学では油絵を専攻し、美術教育課程を修了。学生時代より中学・高校の美術講師を経験。2014年ごろから陶芸の勉強を始め、作品を制作、販売している。「少しでも多くの人にもものを作る楽しさを知ってもらいたい」そんな志のもと、表現することの楽しさを伝えるため、ワークショップ、外部講師などの活動も行っている。2020年より香川県三木町に「アートスペースにしくみ」をOPEN。令和6年度かがわ県産品コンクール的一般部門で「せとうち讃岐・大地のうつわ Lociroki ~Ajiシリーズ~」が知事賞(最優秀賞)を受賞。【趣味】読書。猫が大好き。

## アートスペースにしくみ

<https://www.art-space-2493.com/>

※事前予約制のお店です。ご来店の際は、事前のご予約をお願いいたします



アートスペース  
にしくみ  
HP



ニシクミ  
Instagram  
@2493\_nishikumi



こども講座(みんなの図工室)  
Instagram  
@minnanozukoushitsu



陶芸体験メニュー  
Instagram  
@artspace.2493

## ■陶芸作品について

—令和6年度かがわ県産品コンクールで「せとうち讃岐・大地のうつわ Loci ロキ～Aji シリーズ～」を出品し、「うどん県。それだけじゃない香川県」知事賞（最優秀賞）を受賞されました。一般部門で最優秀賞となる荣誉です。—

ロキシリーズは、コンクールのために作ったわけではなく、もともと庵治石粉を使った陶器を研究していて、試行錯誤の末に完成したのが令和6年の4月でした。庵治石粉利用の構想は6年くらい前からあり、知り合いの石屋さんから庵治石粉をもらって試作していました。庵治石粉はもともと石屋さんでは廃棄するもので、試作するなかで石屋さんが助かるようなことは何かできないかを考えていました。最初はうわぐすりに混ぜて作っていましたが、粘土に混ぜればもっと石粉を大量に使えるのではないかと考え、試作を繰り返しました。石粉の配合が特に難しく、なかなか商品化が難しい素材でしたが、完成した粘土には庵治石の石粉を50%以上配合したうえで、軽くて強度もあるうつわになりました。

### —庵治石粉を使ったうつわは珍しいですね？—

これまで、庵治石粉を使って陶芸をしようとした人はいたはずですが、特に商品化されていないのは、庵治石粉を使うと発色が複雑になるので、陶芸をしている人の理想の色にならなかったからではないでしょうか。最近ではSNSなどで食品の映え写真を撮るのが流行っていますが、庵治石粉を使った陶器のような、シンプルなお皿はとても映えます。時代にも合っていると思いますので、ぜひ使ってみてください。



←左 Loci ロキ～Aji シリーズ～  
手に持ってみると、陶器とは思えない軽さに驚きます。讃岐にちなんだカラーパリエーション。色もいろいろ、個性があります。

↓下 庵治石は、三木町の北隣に位置する高松市庵治地域でのみ産出する世界的にも有名な石で、「花崗岩のダイヤモンド」と呼ばれています。

## ■作品いろいろ



島マグネットは瀬戸内海に浮かぶ島がモチーフ。



はにわ。工房のいろんな場所に住んでいる癒しの存在。手びねり体験でも作れます。



三木町に縁の深いメタセコイアをモチーフにしたシリーズ。



—石花(かき)シリーズ—  
石にしか見えないけれど、実は陶器。花瓶や植木鉢として使用できるシリーズ。石そのものではなく、にしくみさんがイメージする「石っぽさ」を表現しています。すべて1点もので、WEBショップで販売していない店頭販売のみの限定品。ぜひ三木町の工房で手に取ってみてください。驚きます。



←左 陶器のクリスマスツリー。  
1点もので、それぞれ違った表情も魅力。

→右 ピアスやブローチなどのアクセサリも。



## ■これからの活動について

### —地域でも積極的に活動されていますよね？—

令和7年7月に、工房裏のスペースで大人子ども合わせて30人で泥遊びをしました。工房の粘土を使って、みんなで泥こになって思いっきり遊んで、とっても楽しい泥遊びになりました。三木町観光協会主催のグリーンアウトミーティングでは、嶽山でとれた陶石を使った電動ろくろ体験をしました。芸術士として、JA香川県の派遣事業で三木町内の幼稚園で芸術教室を行ったこともあります。子どもたちの感性にはいつも驚かされます。3年に一度、香川県で開催されている瀬戸内国際芸術祭では、島マグネットなどのアクセサリを作成しました。個展で個数限定で販売している陶小物クリスマスツリーも好評をいただいでいて、毎年完売となっています。

### —これからの活動は？—

これまでの取組を継続して、イベントや季節の行事を大切に創作していきたいと思っています。また、オーリーブの灰やサヌカイトなど、香川県にあるものを使って新しい色味を出すことにもどんどん挑戦したいです。作品づくりとアート体験の普及のどちらも大切にして、アートをもっと身近に、気軽に体験できる場所にしていきたいです。

### —最後にふるさと住民の皆さんに一言お願いします！—

三木町は、隠れた遊び場も多いので、ちょっとした旅行気分でも三木町を散策してほしいです。日帰りの小旅行でも楽しめると思うので、ぜひ遊びに来てください。皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。三木町の工房でお待ちしています！

### —ありがとうございました！—



膨大な回数の試作を繰り返して、新しい作品が誕生します。



優しい光が差し込む工房。



## はじめまして! 地域おこし協力隊のいっしーです!

地域おこし協力隊として、石山直樹(いしやま なおき)さん(愛称:いっしー)が三木町に着任しました。令和7年2月から三木町観光協会に所属し、暑い時も寒い時も地域のために奔走しています!ここではふるさと住民の皆様、町の魅力発信や地域資源の発掘に取り組むいっしーの活動をご紹介します。

石山直樹(いしやま なおき)さん  
東京都出身 趣味: キャンプ、サウナ、旅行、食べること



【三木町地域おこし協力隊 公式 Instagram】 @miki\_kagawa\_chiikiokoshi  
[https://www.instagram.com/miki\\_kagawa\\_chiikiokoshi/](https://www.instagram.com/miki_kagawa_chiikiokoshi/)

### ご挨拶



ふるさと住民のみなさま、はじめまして。令和7年2月から地域おこし協力隊として東京から移住してきました、石山直樹です。

もともと、地方移住に興味があり移住先を探しているなかで、三木町の「ほどよい田舎」が自分のイメージにピッタリだったので縁もゆかりもない土地ではありましたが、三木町に移住を決めました!

私は、三木町観光協会に所属しており、事業者等をつなぐプラットフォームとなり三木町の文化・歴史・産業等の地域資源を有効活用しながら、潜在的な資源も発掘し、三木町の元気につなげる取組を行っております。

Instagramなどで情報発信をしていきますので、ぜひご覧いただければと思います!!



▲三木町観光協会  
Instagram



▲地域おこし協力隊  
Instagram

### EXPO2025 大阪・関西万博

「EXPO2025 大阪・関西万博」で行われた香川県自治体ブースに参加してきました。

こちらは、香川県全体のPRイベントになっており、各市町ごとにブースが分かれそれぞれPRしていくというもので、三木町は、獅子頭・竹一刀彫・讃岐桶樽・香川漆器・鎌倉芳太郎の手ぬぐいを展示し、国内外から集まったたくさんの方に、三木町の魅力を紹介しました!国内の方はもちろん、海外の方にも展示品の説明をするのはとても大変でした…

また、三木町自慢の「さめきひめ」や「女峰」のいちごもしっかりと紹介してきました。いちごは大人気で「甘い」「美味しい」といった嬉しい声をたくさんいただけたので、町外の方へしっかりとPRできたと思っています。

万博という大きなイベントに参加させていただき、来場者の方に「三木町ってどこ?」と興味を持ってもらえたことが嬉しかった反面、まだ認知されていないことも実感しました…。他市町のブースを見る中で、「こんな工夫もいいな」「こんな発信の仕方があるんだ」と学ぶことも多く、三木町のこれからのPRにも活かしていけそうです。



### 気になっている空き家のこと

全国的にも問題となっている空き家。

そのまま放置しておくと、景観悪化や倒壊などのトラブルが起きてしまう場合がございますが、新たな資源として有効活用ができないかと考えています。

令和7年2月高松市内に完成したあなぶきアリーナでイベントが行われる日は、高松市内の宿泊施設がいっぱいになり三木町にも多くの方が宿泊されているようです。そのようなこともあり、三木町にも少しずつではありますが、民泊施設が増えてきております。民泊施設は、空き家の有効活用のひとつの手段だと思えます。

民泊施設以外でも空き家を有効活用していくためには、どれくらいの空き家があるのか?どの地域にあるのか?などの情報を多く知りたいのですが、まだまだ空き家バンクの登録が非常に少ない状況です。もし、三木町にお持ちの空き家がございましたら是非、空き家バンクへのご登録をお願いいたします!



▲三木町公式 HP  
移住支援メニュー



▲三木町公式 HP  
空き家バンク

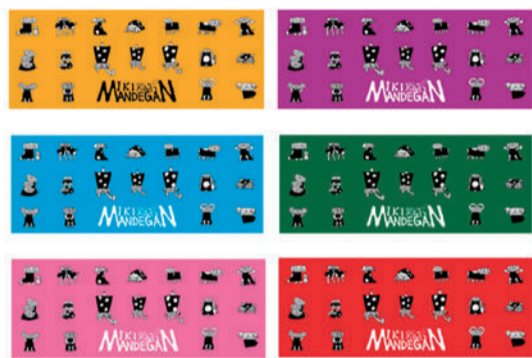
## オンラインショップ

三木町観光協会のオンラインショップを開設いたしました。

現在は、毎年10月に行われる「獅子たちの里 三木まんで願。」の記念グッズを中心に販売しています。獅子+シーサー+いちご+パイナップルがコラボレーションした手ぬぐいもありますよ!まだまだ



数量限定 1枚 2,500円(税込)



数量限定 1枚 1,500円(税込)

商品数は少ないですが、三木町の様々な商品を販売できるようにし、お近くに住んでいらっしゃらない方にも三木町の商品をお届けできるようにしていきたいです!

オンラインショップでは、「三木まんで願。Tシャツ」も販売しています。地元の獅子好きな中学生たちと「三木まんで願。Tシャツプロジェクト」を立ち上げ、プロデザイナーのサポートのもと、みんなで三木町井上地区にある天野神社へ獅子舞の取材も行い、半年かけてこだわりのグッズが完成しました!今回のTシャツは、肌触りのいいコットン生地です。

そしてなんと、手ぬぐいも作っちゃいました。キュートな獅子柄で、全6色。三木町観光協会のオンラインショップや、三木町ふるさと納税の返礼品でもGETできますので、この機会にぜひどうぞ。

※数量限定のため、売り切れの際はご了承ください。



「三木まんで願。Tシャツプロジェクト」の皆さん



天野神社の大獅子。三木町最大の大獅子で、獅子頭の重さはなんと320kg!

《ふるさと納税はこちら》



◀ 三木町公式 HP  
ふるさと納税

《三木町観光協会オンラインショップはこちら》



◀ 三木町観光協会  
オンラインショップ

## ワークショップも開催しています

三木町観光協会では、地域の文化や自然に触れながら、春夏秋冬1年を通じてその季節・その地域のなかで「気づき」、「学び」を体験できるワークショップを展開しています。まだ暑い夏だった8月23日には、田舎とうふをつくるワークショップイベントを行いました。とうふをつくる過程でできる豆乳を試飲したり、おからを使ってドーナツをつくったりと、子どもから大人まで喜んでいただけたワークショップだったのではないのでしょうか。とうふつくりの合間には、参加者との交流会も行われました。三木町内外からの参加者と地域の人と少しではありますが親睦が深められたと思います。

ほかに、野草を学ぶワークショップでは、野草を打ち込み麺とお団子にして食べてみたり、稲刈りワークショップでは、昔ながらの稲刈り&新米おにぎりを作ってみたり、太鼓バチづくり体験ワークショップでは、獅子舞で使う竹のバチを作って実際に太鼓を叩いてみたり。今後も、さまざまなワークショップを企画していきますので、ぜひご参加ください。三木町の自然や文化に触れながら、一緒に地域の魅力を発見し、絆を深めていきましょう!



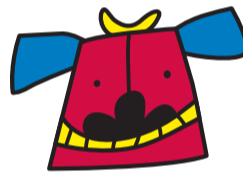
### 【イベントレポート】開催御礼!! 令和7年度「獅子たちの里 三木まんで願。」



10月25日(土)今年も三木町が誇る一大イベント「獅子たちの里 三木まんで願。」を盛大に開催しました。当日は夕方からあいにくの雨となり、強い雨に見舞われる場面もありましたが、獅子連をはじめ出演者・出店者の皆さんの熱い思いに支えられ、最後まで無事に開催することができました。

会場には4万7千人もの来場者が集い、間近で楽しめるよう工夫した獅子舞の迫力ある演舞に、大きな歓声が上がりました。さらに、自分たちで作った獅子頭を手に飛び入り参加できる「みんなの獅子舞」など、新たな企画も大好評。子どもから大人まで、笑顔あふれるひとときとなりました。

三木町の歴史や文化、自然、食、ものづくり、そして人の魅力を“まんでがん”詰め込んだ本イベント。今後も「獅子たちの里 三木まんで願。」を通して、三木町の元気を発信していきます。ご来場いただいた皆さま、誠にありがとうございました。令和8年度も開催予定ですので、是非ご参加ください。



YouTube チャンネル  
「KIT\*MIKI」で動画を配信中!  
当日のお祭りの様子をチェック!



三木町公式HP  
三木まんで願。



三木まんで願。  
YouTube



三木まんで願。  
Instagram

2月25日(水)からKIT\*MIKIホームページにて応募開始(応募期間:2026年2月25日(水)9時~2026年3月19日(木)17時)

### 三木の「ええもん」もらえるキャンペーン

第18弾

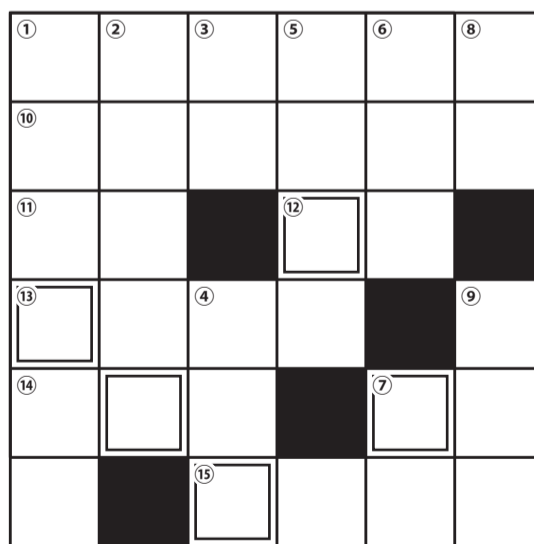
年2回

抽選 10組

みらいいちごの  
『さぬきひめ詰め合わせ(約850g入)』  
をプレゼント!

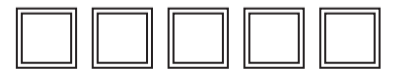
第18弾(2025年度冬分)は、本紙2025年春号で紹介したみらいいちごの『さぬきひめ詰め合わせ』をご用意しました。2022年に県外から三木町へ移住され、2023年4月に農園「みらいいちご」を立ち上げた西浦さんと森田さんが栽培する香川県オリジナル品種のさぬきひめ。大切に育てられた宝石のようないちごを、是非この機会にご賞味ください!※2026年3月末頃発送予定です。生育状況により粒の大きさが変わります。あらかじめご了承ください。

KIT\*MIKIサイト内のエントリーフォームにパズルの答えをご入力・ご応募ください。



を並び替えてできる言葉は何でしょう?

ヒント:キャンプ、サイクリング、登山などの活動です。



エントリーフォームはこちら

こちらのQRコードからご覧いただけます。  
<https://www.town.miki.lg.jp/kit-miki/form2/>

(はがきでの応募)下記住所宛に、お名前・ご住所・電話番号・パズルの答えを明記の上ご応募ください。

#### 【タテのカギ】

- ①運動するときに着る衣服。体育の授業などで着る服
- ②別名「沼狸」ですが、ネズミの仲間です
- ③「南」の反対語
- ④イアン・フレミングのスパイ小説の主人公はジェームズ・〇〇〇
- ⑤「冷水」の反対語
- ⑥鮭や鱒の魚卵のこと
- ⑦ことわざで「〇〇があったら入りたい」
- ⑧漢字で「栗鼠」
- ⑨地球内部で自然に生成する熱。〇〇発電。

#### 【ヨコのカギ】

- ①寝たふりをすること
- ⑦1570年起った織田・徳川軍と浅井・朝倉軍の合戦「〇〇川の戦い」
- ⑩国税庁が運営する国税電子申告・納税システムの呼称
- ⑪鬼は〇〇。福は内。
- ⑫十二支の中で、ネコ科の動物。
- ⑬猪の子供
- ⑭「安心」の対義語
- ⑮オランダ発祥のリング状やボール状の形をした甘いお菓子



みらいいちごInstagram



みらいいちごLINE



ネット販売